



兵庫県

**「第9期 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」
売上高方式/売上高減少方式に関する補足資料
-添付⑪⑫協力金日額の計算シート（手書き用）-**

お問い合わせ

■兵庫県時短協力金コールセンター

開設時間 午前9時から午後5時（月から金曜日）

電話番号 078-361-2501

(添付書類①・⑤) 協力金日額の計算シート

申請者名	株式会社〇×商事	《売上高計算基準月》	
店舗名	〇×レストラン 〇〇店	申請区分	売上高計算基準月
		9期	10月

【売上高方式】は下記の①～③を記入してください。(中小企業者のみ適用可能)
 ※注意: テイクアウト、物販、仕出し等の売上および消費税・地方消費税を除く額を必ず記入すること!

①1日当たりの売上高の計算

売上高算出方法			
<input type="checkbox"/>	A. 1日単位 ※別途1日単位売上高計算シート①を添付してください。	<input type="checkbox"/>	B. 1か月単位
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	C. 年間単位
A. 1日単位又はB. 1か月単位			
令和2年又は令和元年の基準月の売上高	令和2年又は令和元年の基準月の営業日数	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	
ア 3,380,000 円	イ 26 日	ウ 130,000 円	
※ 営業日数が把握できない場合は、係数26で計算する。		※ 1円未満切り上げ	
C. 年間単位			
令和2年又は令和元年の売上高	令和2年又は令和元年の営業日数	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	
ア'	イ'	ウ'	
※ 営業日数が把握できない場合は、係数312を入力する。		※ 1円未満切り上げ	
■ 兼業率及び店舗数			
令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	兼業率 (兼業がなければ1で計算)	店舗数	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高
ウ(ウ') 130,000 円	エ 1	オ 1	カ 130,000 円
		※ 1円未満切り上げ	

②期間別の申請方式の確認

要請期間	カ・令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高の金額					
■兵庫県独自の時短要請に対する協力金 第9期 10/1~10/21	<input type="checkbox"/>	83,333円以下⇒キに「25,000」と記入	<input type="checkbox"/>	83,334円以上 250,000円以下⇒③へ	<input type="checkbox"/>	250,001円以上⇒キに「75,000」と記入又は③へ

③協力金日額の計算

令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高		協力金日額	
カ 130,000 円	キ 0.3	キ 39,000 円	
※千円未満切り上げ 上限7万5千円 計算結果が2万5千円未満の場合は一律2万5千円			

大企業の場合は【売上高減少方式】のみの申請となります。以下の③'を記入してください。

③' 売上高減少方式の計算 **※注意：テイクアウト、物販、仕出し等の売上および消費税・地方消費税を除く額を必ず記入すること！**

大企業又は令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高の金額が25万円超の中小企業の場合こちらの方式での申請が可能です。
ただし、1日当たりの売上高減少額×0.4又は、1日当たりの飲食部門の売上高×0.3のいずれか低い額が適用となります。計算結果を確認し、いずれか低い額を協力金日額として申請してください。

売上高を1日単位で算出する場合、1日単位売上計算シートについて令和元年又は2年分と令和3年分の2枚を提出してください。

売上高算出方法					
<input checked="" type="checkbox"/>	A. 1日単位 ※別途1日単位売上高計算シート①を添付してください。	<input type="checkbox"/>	B. 1か月単位	<input type="checkbox"/>	C. 年間単位

A. 1日単位又はB. 1か月単位

令和2年又は令和元年の基準月の売上高		÷	令和2年又は令和元年の基準月の営業日数		=	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	
サ	3,380,000 円		シ	26 日		ス	130,000 円

※ 営業日数が把握できない場合は、係数26で計算する。 ※一円未満切り上げ

C. 年間単位

令和2年又は令和元年の売上高		÷	令和2年又は令和元年の営業日数		=	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	
サ'			シ'			ス'	

※ 営業日数が把握できない場合は、係数312を入力する。 ※一円未満切り上げ

■ 兼業率及び店舗数

令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高		×	兼業率（兼業がなければ1で計算）		÷	店舗数		=	令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高	
ス(ス')	130,000 円		セ	1		ソ	1		タ	130,000 円

※一円未満切り上げ

売上高算出方法

<input checked="" type="checkbox"/>	A. 1日単位 ※別途1日単位売上高計算シート②を添付してください。	<input type="checkbox"/>	B. 1か月単位
-------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------	----------

令和3年基準月の売上高		÷	令和3年基準月の営業日数		=	令和3年基準月の1日当たりの売上高	
チ	2,800,000 円		ツ	28 日		テ	100,000 円

※一円未満切り上げ

令和3年10月の「営業日数」のカウントは、実際に営業した日に加えて、本来営業する予定だったが、異の理由によって休業した日数を加えて「営業日数」としてカウントしてください。

■ 兼業率及び店舗数

令和3年基準月の1日当たりの売上高		×	兼業率（兼業がなければ1で計算）		÷	店舗数		=	令和3年基準月の1日当たりの売上高	
テ	100,000 円		ト	1		ナ	1		ニ	100,000 円

※一円未満切り上げ

令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高		-	令和3年基準月の1日当たりの売上高		×	売上減少方式の計算結果	
タ	130,000 円		ニ	100,000 円		ヌ	12,000 円

※千円未満切り上げ 上限20万円

■ 令和元年若しくは令和2年10月の1日あたりの飲食部門の売上高×0.3（千円未満切り上げ）

令和2年又は令和元年の基準月の1日当たりの売上高		×	売上高方式の計算結果	
タ	130,000 円		ネ	39,000 円

※千円未満切り上げ 上限20万円

協力金日額	
ノ	12,000 円

※ - ネいずれか低いほうを入力してください。

申請書の協力金日額の欄にキの金額もしくは、ノの金額を記入し、申請額を計算してください。

■1日単位売上高計算シート

申請者名	株式会社○×商事
店舗名	○×レストラン ○○店

対象年度	<input checked="" type="checkbox"/> 令和元年	<input type="checkbox"/> 令和2年
------	--	-------------------------------

対象月	<input checked="" type="checkbox"/> 10月
-----	---

営業日だが売り上げが0円だった場合は、0を入力すること。営業日でない日付は空欄とする。

要請に応じて休業とした日については営業日でない日とする。

※注意：テイクアウト、物販、仕出し等の売上および消費税・地方消費税を除く額を必ず記入すること！

日付	売上
1日	130000
2日	130000
3日	130000
4日	130000
5日	130000
6日	130000
7日	130000
8日	130000
9日	130000
10日	130000
11日	130000
12日	130000
13日	130000
14日	130000
15日	130000
16日	130000
17日	130000
18日	130000
19日	130000
20日	130000
21日	130000
22日	130000
23日	130000
24日	130000
25日	130000
26日	130000
27日	
28日	
29日	
30日	
31日	
合計	

■1日単位売上高計算シート（売上高減少方式で算出される場合はこちらのシートもご提出ください）

申請者名	株式会社○×商事
店舗名	○×レストラン ○○店

対象年度	<input checked="" type="checkbox"/> 令和3年
------	--

対象月	<input checked="" type="checkbox"/> 10月
-----	---

営業日でない日付（定休日）のみ空欄とする。
 令和3年10月の[営業日数]のカウントは、実際に営業した日に加えて、本来営業する予定だったが、県の要請に従って休業した日数を加えて「営業日数」としてカウントしますので休業日に関しても、0を入力してください。
 ※注意：テイクアウト、物販、仕出し等の売上および消費税・地方消費税を除く額を必ず記入すること！

日付	売上
1日	100000
2日	100000
3日	100000
4日	100000
5日	100000
6日	100000
7日	100000
8日	100000
9日	100000
10日	100000
11日	100000
12日	100000
13日	100000
14日	100000
15日	100000
16日	100000
17日	100000
18日	100000
19日	100000
20日	100000
21日	100000
22日	100000
23日	100000
24日	100000
25日	100000
26日	100000
27日	100000
28日	100000
29日	
30日	
31日	
合計	

《協力金日額計算シート》

売上高方式

協力金日額		
キ	39,000	円

売上高減少方式

協力金日額		
/	12,000	円

計算シートの計算結果を
電子申請の場合は、【協力金日額】の欄に入力してください。
紙申請の場合は、下段にある【協力金日額】の金額を記入するとともにカレンダーの日数を記入し、協力金の申請額を計算してください。

《紙申請の場合》

8. 協力金の申請額 (第9期の早期支給を受給された方には、申請額から早期支給分を差し引いた額を支給します。)

協力金日額※	円	x	時短営業日数	日	=	協力金額	円
--------	---	---	--------	---	---	------	---

※「協力金日額の計算シート」の「ク欄」又は「本欄」の金額を転記してください。

《電子申請の場合》

協力金日額 【必須】

選択してください

※必ず申請すべき協力金日額を確認し、上記の欄に正しい日額の数字を選択してください。